

平成17年11月7日

各位

会社名 株式会社 ヨシタケ  
 代表者の役職名 取締役社長 山田進  
 (JASDAQ・コード番号 6488)  
 問い合わせ先  
 役職・氏名 経理部長 島勝彦  
 052-881-7146(代)

平成18年3月期(平成17年4月1日~平成18年3月31日)  
 中間業績予想との差異、通期及び連結業績予想の修正について

平成18年3月期(平成17年4月1日~平成18年3月31日)の業績予想について、平成17年5月20日付当社「平成17年3月期 決算短信」において発表いたしました業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成18年3月期中間業績予想の修正等

(1) 連結業績予想(平成17年4月1日~平成17年9月30日)との差異 (単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	2,660	340	240
今回予想(B)	2,696	398	256
増減額(B-A)	+36	+58	+16
増減率	+1.4%	+17.1%	+6.7%
ご参考:前期の業績 平成17年3月期中間	2,537	244	150

(2) 個別業績予想(平成17年4月1日~平成17年9月30日)との差異 (単位:百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	2,640	280	180
今回予想(B)	2,676	378	237
増減額(B-A)	+36	+98	+57
増減率	+1.4%	+35.0%	+31.7%
ご参考:前期の業績 平成17年3月期中間	2,509	202	112

(3) 修正の理由

連結業績予想につきましては、売上高は堅調に推移し前回予測を若干上回る見通しであります。

経常利益および中間純利益につきましては、主に売上高が前回予想を上回ることおよび今期実施いたしました価格改定の効果などにより前回予測を上回り、中間決算としては過去最高益を計上できる見通しであります。

個別業績予想につきましては、連結業績予想の修正理由に加え、海外関係会社からの配当金が増加したため、経常利益および中間純利益は前回予測を上回り、中間決算としては過去最高益を計上できる見通しであります。

2. 平成18年3月通期業績予想の修正

(1) 連結通期業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日)の修正 (単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	5,430	790	560
今回予想(B)	5,430	850	560
増減額(B-A)	±0	+60	±0
増減率	±0.0%	+7.6%	±0.0%
ご参考:前期の業績 平成17年3月期	5,131	551	372

(2) 個別通期業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日)の修正 (単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 年間配当金
前回予想(A)	5,400	650	410	20円00銭
今回予想(B)	5,400	750	450	20円00銭
増減額(B-A)	±0	+100	+40	±0
増減率	±0.0%	+15.4%	+9.8%	±0.0%
ご参考:前期の業績 平成17年3月期	5,085	441	268	15円00銭

(3) 修正の理由

連結通期業績予想につきましては、引き続き売上高は堅調に推移するものと思われ、前回予想と同じく54億30百万円を予想しております。

経常利益につきましては、中間業績予想の修正理由のとおり前回予想を上回る見通しであります。当期純利益につきましては、税金費用の見直しを行いました結果、前回予想通りの見通しであります。

個別通期業績予想につきましては、連結業績予想の修正理由に加え、下期におきましても海外関係会社からの配当金の増加を予想しており、経常利益および当期純利益は前回予測を上回る見通しであります。

上記のとおり、連結通期業績および個別通期業績につきまして過去最高益を計上できるものと予想しております。

以上